



ときのまど

# 時の窓

TOKI NO MADDO

No.179

2015/9/25

## 青年が裁判所と全司法の「中心」に



### 総会議案は全会一致で可決 新事務局長は山下裕也さん(徳島)

全司法青年協は、8月29日から30日にかけて、東京都上野で第25回定期総会を開催しました。

総会には、代議員・オブザーバー・来賓等、のべ65名が出席し、2015年度の運動方針案をはじめとした各議案について、活発な討論が行われ、全ての議案が全会一致で可決されました(裏面に写真あり)。

また、事務局長は山本あゆみさん(札幌)から山下裕也さん(徳島)に交代しました。

なお、新たな役員については、次号の「時の窓」で紹介させていただこうと考えています。

### 青年が裁判所と労働組合の「中心」に 学び、仲間を増やしていこう

定期総会は、総会議長に伊藤代議員(高知)、副議長に新垣代議員(沖縄)を選出して開会しました。

冒頭、執行部を代表して山本議長があいさつを行い、青年一人ひとりが、全司法労働組合の、そして裁判所の「中心」となり、働きやすい職場を自分たちの時代にも維持・発展させるために、労働条件や裁判所の仕組み、労働組合の運動に関する学習を深め、一人でも多くの仲間を全司法に迎え、ともに力を蓄えていこうと呼びかけました。

その後、来賓として、全法務省労働組合本部の小山書記次長と全司法本部の中矢委員長から連帯と激励のあいさつを受けました。

### 青年の要求実現にむけた発言相次ぐ

続いて、2015年度運動方針案の提案が山本事務局長から行われました。提案の骨子については、裏面に記載のとおりです。

全体討論では、代議員・オブザーバーから、のべ43本の発言があり、多くの課題にわたる活発な討論となりました。紙面の都合があり、全ての発言を紹介することはできませんが、裏面に発言の様子を一部掲載します。

また、今回は、組織強化・拡大をはじめ、教宣活動の充実や最高裁との交渉、青年部の独自交渉の内容など、青年の要求実現にむけた発言が多く出されました。

その後、組合活動への関わりの段階に応じた班別討論(分科会)を行い、組織・学習・教宣・調査・レクなどについて討議を深め、各班からは青年らしい率直な意見が発表されました。

### 「職場諸要求実現」と「組織の強化・拡大」すすめる

討論を受けて、山本事務局長の総括答弁では、討論の中で出た発言はいずれも、青年の活動について、真摯で前向きな思いを感じるものであり、青年協としては、出された意見を受け止め、「職場諸要求実現」と「組織の強化・拡大」をすすめていきたいと述べ、ともに全司法を強く・大きくしていこうと呼びかけました。

## 青年活動の原点は「つながり」をつくること

### 【事務局長提案の骨子】

青年の活動の原点は、仲間と「つながる」ことであり、青年を一人ぼっちにさせず何でも相談できる関係を作ることが重要である。その「つながり」が日常活動の充実、青年をとりまく環境の改善に結びつく。「つながる」機会として、レクリエーションを積極的に実施し、参加してもらいたい。

私たち青年が、全司法を継承し、発展させる時期が目の前にやってきている。この総会で出された意見や質問が、青年協を、そして全司法を強く大きくしていく。代議員、オブザーバー皆さんの積極的な発言をお願いしたい。



2015年度の運動方針案を提案する山本あゆみ事務局長



↑ 鎌崎オブザーバー（愛知支部）  
「10月の加入が4月の加入につながった」  
新採用者を中心とした組織拡大について発言



↑ 彦田代議員（鳥取支部）  
「出身地や採用後の変化に応じて」  
採用地や異動要求の切実性について発言



↑ 阿部代議員（福島支部）  
「定期総会に出席するまでになった」  
レクを通じた組合活動への参加について発言



↑ 石橋代議員（福岡支部）  
「職場の要求をまとめ実現した」  
青年部の独自交渉について発言



↑ 町田オブザーバー（福岡支部）  
「職場に組合の風を吹かせる」  
教宣活動の必要性について発言



↑ 新井代議員（最高裁支部）  
「月1回、若手で集まって話をしている」  
在京のとりくみと朝型勤務について発言

## 最高裁はかく語りき

コラム  
Vol.1

### 超過勤務縮減のための対策（抜粋）

最高裁としては家裁や事務局を含めて、組織全体として超過勤務の縮減にとりくむとともに、管理職員が部下職員の事務処理状況等をきめ細かく見て、職場実態に合った事務の簡素化、合理化に向けた具体的な指導を行うよう指導を徹底していきたい。

なお、一方で超過勤務の縮減をすすめるに当たって、サービス残業や持ち帰り仕事が生じることのないよう、よりいっそう下級裁を指導していきたい。

2015年諸要求貫徹闘争における最高裁人事局長交渉（全司法本部）



2015年度運動方針案・一般会計予算案・特別会計予算案は、いずれも全会一致で可決されました。

## 次号予告

青年協新体制  
常任委員からのごあいさつなど